



福祉施設レジリエンス
支援事業から
住民主体のまちづくりを

TUNAGU発電 / 地域とつなぐ発電所

東京支部 高田桂子
2024年12月1日

1

福祉施設のレジリエンスとは

非常時	<ul style="list-style-type: none">• 3日間、事業継続する 「介護施設・事業所における自然災害発生時の業務継続ガイドライン」 厚生労働省・令和6年• 福祉避難所として稼働する 周辺の障害を持つ人を受け入れる
平常時	<ul style="list-style-type: none">• 安価なエネルギーで運営できる• エネルギーを介した地域との協働を強める

2

建物のランニングコストにお金がかかる

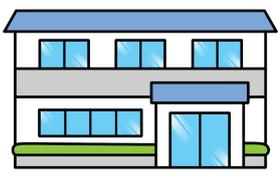
～三鷹市の障害者施設からの相談～
 2000年に完成した生活介護施設。2011年に建てた定員が同じ法人施設は低圧なので、高圧から低圧に変えて、毎月かかる点検費用を抑えたい。

↓

設計と電気工事店に調査してもらい、容量では低圧にできるが、契約や一時的に使用する電気容量を検討すると、低圧にすると逆に電気代が高くなる！

・既存施設のZEB化は避けて通れない課題。解決の近道

福祉施設の現状

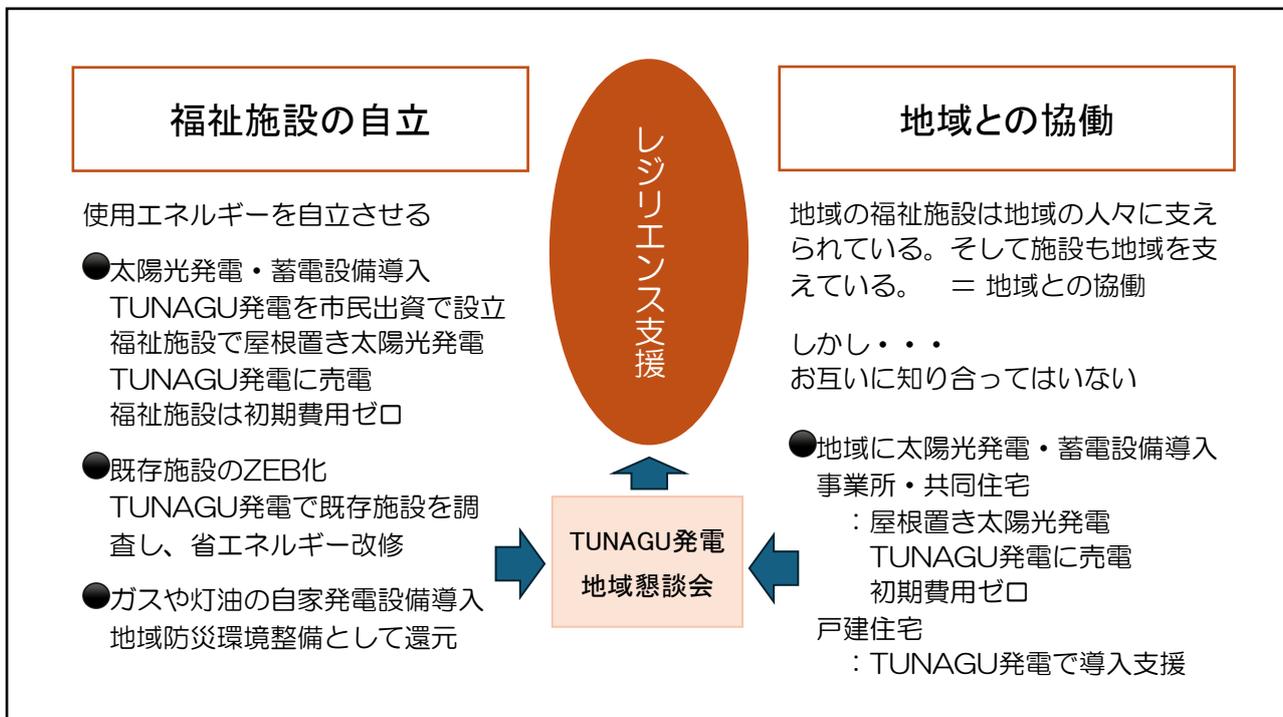


非常時に備える課題 重くのしかかる

～三鷹市の障害者施設からの相談～
 非常時、地域からの利用者増加も想定して、停電なく3日間運営を続けたい。

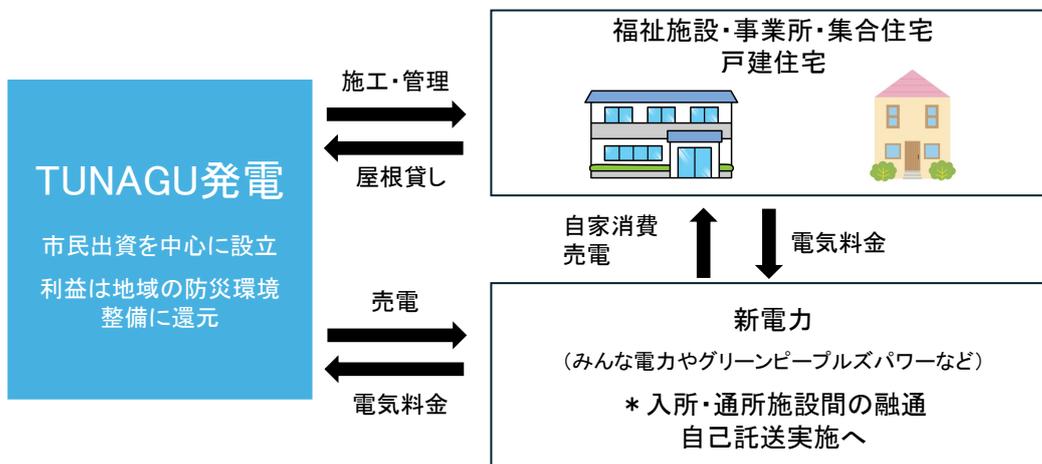
- ・国: ガイドラインで高齢者・障害者施設は非常用自家発電設備を整備し3日間の事業継続。
- ・自治体: 既存施設の福祉避難所を整備へ動き

3



4

TUNAGU発電 事業イメージ



5

TUNAGUソーラー・調布希望

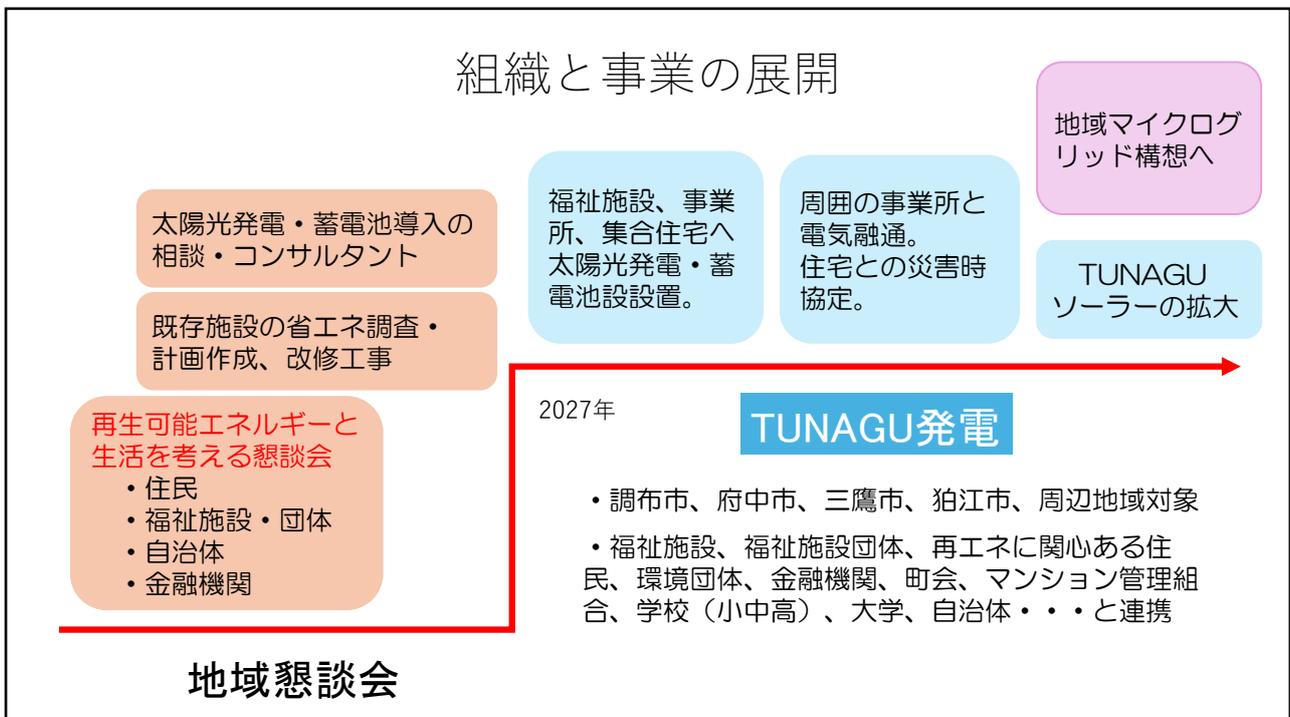


- 調布希望の家
太陽光発電
可能屋根面積：365㎡
可能出力：37kW
電力使用量（三鷹はばたけより推定値）
電灯+電力：200kWh
不足電力：約163kW
- つなぐ対象事業所・集合住宅
第1 対象地域（黄色実線枠）722kW
第2 対象地域（黄色点線枠）
1453kW(111+1342)
第3 対象地域（紫色点線枠）
電気通信大学+特別支援学校
避難所となる小学校には影響しない範囲

6

一般社団法人 TUNAGU発電 市民出資を中心にした地域協働事業 利益は地域防災環境整備のために寄付することを定款に明記	
事業名	TUNAGUソーラー・調布希望
発電規模	希望の家+周辺事業所+集合住宅 合計 500KW ・希望の家 37KW ・周囲の事業所と集合住宅 463KW
買取価格	11円/kWh (税抜・相対契約)
初期費用	発電システム設備費用 37750千円 系統設備費用 675千円
ランニングコスト	O&M費用 250千円 撤去費用 1887.5千円

7



8

地域懇談会イメージ

持続可能な生活と地域 自然エネルギーを考える懇談会

ゴミを出さない生活、ゴミの有効的な循環、プラスチックを使わない生活
 地産地消で安全な農産物・マイカー依存でない交通システム
 子育てが楽しい、高齢者・障害者が住みやすい、きれいな町、自然が豊かなまち
 省エネルギーな住まいとまち、自然エネルギーを取り入れ環境を守るまちづくり



9

事業の発展で目指したいこと



10